

## 第3回日本医師会・日本獣医師会による連携シンポジウム 越境性感染症の現状と課題

1 日 時 : 平成27年11月6日(金) 10:00~12:30

2 場 所 : 日本医師会館大講堂(460名収容)  
文京区本駒込2-28-16 日本医師会館1F  
JR山手線「駒込駅」南口徒歩10分  
東京メトロ南北線「駒込駅」徒歩10分  
都営地下鉄三田線「千石駅」徒歩8分

3 主 催 : 公益社団法人日本医師会 公益社団法人日本獣医師会

4 後援(予定) : 厚生労働省 環境省 文部科学省 日本学術会議

5 挨拶(10:00~10:10):  
公益社団法人日本医師会 会長 横倉義武  
公益社団法人日本獣医師会 会長 藏内勇夫

6 講 演(10:10~12:30):

座 長: 森川 茂 国立感染症研究所獣医科学部長  
丸山総一 日本大学生物資源科学部教授

(1) 10:10~10:30

基調講演「国際的に脅威となる感染症対策について」  
公益社団法人日本医師会 小森 貴常任理事

(2) 10:30~11:10

「中東呼吸器症候群(MERS)の現状と対策」  
国立感染症研究所第三部第四室 松山州徳室長

(3) 11:10~11:50

「獣医学領域からのSFTS(重症熱性血小板減少症候群)の解明」  
山口大学共同獣医学部獣医微生物学教室 前田 健教授

(4) 11:50~12:30

「西アフリカにおけるエボラ出血熱と日本におけるSFTSの流行:求められる対策」  
国立感染症研究所ウイルス第一部 西條政幸部長